

ねぎ生育期における病害虫の防除及び残渣処理について

病害虫の防除について

近年、ネギネクロバネキノコバエ等の病害虫による被害が深谷市内で見られています。以下の対策によって被害軽減を図ることができます。

①薬剤防除

3週間間隔を目安に薬剤散布を行い、特に土寄せ前までを重点的に行う。

ネギネ防除の農薬散布処理例

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|----|---------|-----------|---------|----------|-------------------|-----------|-----------|
| 中旬 | 下旬 | 下旬 | 中旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 中旬 |
| | 定植 △ | | | 土寄せ ▼ | 土寄せ ▼ | 土寄せ ▼ | 収穫 ✕ |
| | フォース粒剤 | ベストガード水溶剤 | カスケード乳剤 | デミリン水和剤 | スタークル(アルバリン)顆粒水溶剤 | カスケード乳剤 | デミリン水和剤 |
| | | | | | | ベストガード水溶剤 | ベストガード水溶剤 |

ネギネクロバネキノコバエ防除マニュアルより抜粋



②排水対策

明渠等の排水対策を行い、ネギネの好む多湿環境を作らない。

③周辺作物・雑草の管理

周辺作物の防除、除草を行い、寄生場所を無くす。

ねぎ生育期における病害虫の防除及び残渣処理について

残渣の処理について

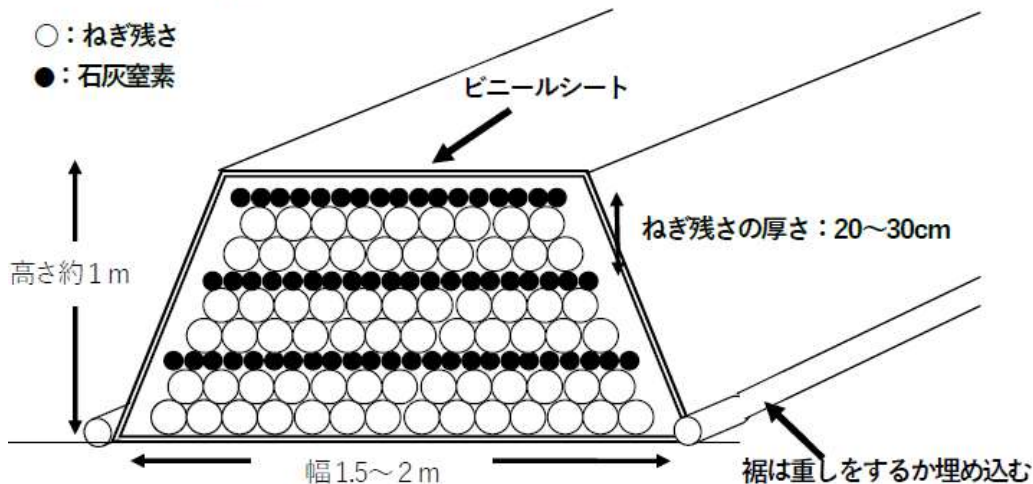
近年、深谷市内において、ねぎ残渣による苦情が多く見受けられます。農作物残渣を放置したままにすると、病害虫の発生や異臭などの原因となります。農作物の収穫が終わりましたら、速やかに残渣を処分し、農地を耕耘するようお願いします。

ねぎ残渣の腐熟促進

①窒素を使い、腐熟させる方法

収穫したねぎに幼虫の被害があった場合、残渣などを捨てる時には、速やかに石灰窒素を加え、腐熟させます。残渣の上から必ずビニールシート等で被覆密閉し、周囲に飛散させないようにします。

被覆密閉する場合の一例



大里農林振興センター資料より抜粋

②微生物分解資材を活用する方法

有機物分解能力を持つ微生物資材を活用し、ねぎ残渣を早く分解させます。

※**注意!** 石灰窒素、殺菌剤との同時使用は避けてください。

お問い合わせ先

深谷市役所農業振興課農業政策係

TEL：048-577-3298